

「救急医療の今後のあり方に関する検討会」(救命救急医療について)

1 趣旨

救命救急センターについては、これまでに質・量ともに一定の整備がなされてきたところ。しかしながら、今後も増大する見込みの救急医療需要に対して、一層の充実を図っていく必要がある。

特に、これまでの重症外傷等への対応に加え、今後増加が懸念される脳卒中、急性心筋梗塞等の急病への対応が課題である。また依然、受入病院の決定までに長時間を要する救急車搬送事案も発生しており、これらへの対策についても考えていく必要がある。

こういった状況を踏まえ、今後の救命救急医療のあり方について検討を行う。

2 検討内容

- ・ 救命救急センターの全国的な整備のあり方
- ・ 高度救命救急センターのあり方
- ・ 救命救急センターの評価方法のあり方

3 会の位置付け等

- ・ 指導課長による検討会
- ・ 会は、原則公開
- ・ 更に専門的な調査や検討を要する場合には、必要に応じ作業部会を開く(作業部会は非公開)

4 会議のメンバー等

(別紙1のとおり)

5 事務局

- ・ 医政局指導課にて行う。

6 開催スケジュール

- ・ 12月より会を数回開催し、年度内を目途にとりまとめを行う。

(別紙)

「救急医療の今後のあり方に関する検討会」(救命救急医療について)

<メンバー>

石井 正三 日本医師会常任理事
泉 陽子 茨城県保健福祉部長
坂本 哲也 帝京大学医学部救命救急センター教授
篠崎 英夫 国立保健医療科学院長
島崎 修次 (財)日本救急医療財団理事長 / 杏林大学救急医学教授
豊田 一則 国立循環器病センター 内科脳血管部門 医長
野々木 宏 国立循環器病センター 心臓血管内科 部長
藤村 正哲 大阪府立母子保健総合医療センター 総長
前川 剛志 山口大学医学部長
松下 隆 帝京大学医学部整形外科主任教授
山本 保博 日本医科大学救急医学主任教授

<オブザーバー>

荒木 裕人 総務省消防庁救急企画室

<省内関係部局>

雇用均等・児童家庭局 母子保健課

保険局 医療課